

メタデータスキーマ提供に関するアンケート

記述回答欄につきましては適宜改行ください。

ご入力がうまくいかない場合は、別途テキストファイルなどにご入力ください。

Q 1.	メタデータ情報基盤構築事業へ提供可能なメタデータ構造の定義（メタデータスキーマ）がありますか？
	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
以降は、Q 1. で「はい」とお答えの方にお伺いいたします。	
Q 2.	そのメタデータスキーマは、何を対象としたメタデータスキーマでしょうか？ [例] 収蔵品のメタデータ、書誌のメタデータ、公文書のメタデータ等
Q 3.	そのメタデータスキーマは、どのような記述形式でしょうか？ [例] RDF 形式、XML Schema 形式、文書形式（Word や PDF 等）、表形式（Excel 等で記述）、印刷物、既に公開中の資料等
Q 4.	そのメタデータスキーマには、運用手順書あるいはガイドラインはございますか？ある場合、公開されているでしょうか？
Q 5. ※	そのメタデータスキーマに沿って記述されたメタデータ自体及び運用手順書あるいはガイドラインを、サンプルとしてご提供いただけますでしょうか？ またそのサンプルは、一般公開可能でしょうか？
	<input type="checkbox"/> 提供可・一般公開可
	<input type="checkbox"/> 提供可・一般公開不可
	<input type="checkbox"/> 提供可・一部公開 →以下に詳細を簡単にご記入下さい。 可
	<input type="checkbox"/> 提供不可

※提供に際しまして、所要の手続きは実施させて頂く前提としてご回答ください。

本シートの回答は御手数をおかけしますが、1月13日（木）までに返信頂くようお願い申し上げます。

メタデータスキーマ提供に関するアンケート ご回答まとめ

回答ファイル名	提供可能なメタデータスキーマがある	何を対象としたものか	記述形式	運用手順書あるいはガイドラインの有無と公開状況	サンプル提供の可否	サンプルの一般公開可否	サンプルの提供・公開についてコメント
国立情報学研究所 (CAT)	○	書誌	CATP形式 http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/system/client.html	目録情報の基準 第4版 http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/MAN/KIJUN/kijun4.html コーディングマニュアル http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/MAN2/CM/mokuji.html その他のマニュアル等 http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/catmanual.html	○	○一般公開可	
国立情報学研究所 (CiNii)	○	論文書誌、論文著者情報	HTMLページとして公開 論文詳細表示のRDFについて http://ci.nii.ac.jp/info/ja/if_rdf.html 著者詳細表示のRDFについて http://ci.nii.ac.jp/info/ja/if_rdf_auth.html	なし	○	○一般公開可	
国立情報学研究所 (JuNii2)	○	機関リポジトリのメタデータをハーベスト(収集)するため	XML Schema形式 http://irdb.nii.ac.jp/oai/junii2.xsd 文書形式の日本語版 http://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/pdf/junii2_elements_guide_ver2.pdf 英語版 http://www.nii.ac.jp/irp/en/archive/pdf/junii2_en_20090213.pdf	junii2ガイドライン(バージョン1.0)を公開 http://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/pdf/junii2guide_ver1.0.pdf	○	○一般公開可	
国立情報学研究所 (KAKEN)	○	研究プロジェクト、研究者情報	文書	なし	○	○一般公開可	
農林水産研究情報総合センター	○	図書書誌、文献書誌	RDF形式、XML Schema形式	ガイドライン有り、一般にも公開されている	○	○一般公開可	
国立国会図書館	○	書誌	RDF形式、PDF形式 「国立国会図書館ダブリンコアメタデータ記述(DC-NDL)」 http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/meta.html	ないが、Application Profile内に、RDF/XMLによる記述例は掲載	○	○一般公開可	
国立公文書館	○	歴史公文書等	下記の資料を公開している。 「国立公文書館EAD定義」(第1.07版) http://www.digital.archives.go.jp/support/pdf/naj_ead107.pdf	同左	○	△一部公開可	メタデータのサンプルについては、下記資料を公開しており、提供及び公開可能。 「国立公文書館 EAD(Ver. 1.07)サンプル」 http://www.digital.archives.go.jp/support/pdf/naj_ead_sample.pdf
東京国立近代美術館	○	收藏品	Excelで提供可能(の予定)	特になし 作品管理システムの業務マニュアルはあり、非公開	○	×一般公開不可	一部サンプルになると思われる
東京国立博物館	○	人文系ミュージアムの收藏品	RDF形式	http://webarchives.tnm.jp/docs/informatics/smmoi-rdf-expression/	○	△一部公開可	左記URLに記述法を公開していますが、実際のデータとして運用しているものがないため、メタデータ自体のサンプルは提供不可です

メタデータ情報基盤構築事業 アンケート

記述回答欄につきましては適宜改行ください。

ご入力がうまくいかない場合は、別途テキストファイルなどにご入力ください。

添付資料1：メタデータスキーマ・レジストリの構築

添付資料2：メタデータ情報基盤構築事業概要説明 もあわせてご覧ください。

Q 1.	御社/貴団体にメタデータをご利用されていますか、あるいは利用されたことがありますか。	
	<input type="checkbox"/> はい	→以下に利用データ・内容等を簡単にご記入ください。
	<input type="checkbox"/> いいえ	→Q 5へお進みください。
Q 2.	(Q 1. で「はい」とお答えの方に伺います) 御社/貴団体内部で公開（あるいは流通）を目的としたメタデータを作成されていますか。	
	<input type="checkbox"/> はい	→以下に内容等を簡単にご記入ください。
	<input type="checkbox"/> いいえ	→Q 5へお進みください。
Q 3.	(Q 2. で「はい」とお答えの方に伺います) メタデータスキーマ（一部でも）公開はされていますか、あるいはその可能性はありますか。	
	<input type="checkbox"/> はい	→以下にメタデータの内容とその公開方法等を簡単にご記入ください。
	<input type="checkbox"/> いいえ	→Q 5へお進みください。

Q 4.	<p>(Q 3. で「いいえ」とお答えの方に伺います) 公開されない理由をお教えてください。</p>
Q 5.	<p>メタデータ情報基盤構築事業（添付資料をご覧ください）につきまして感想をご自由にご記入ください。</p>
Q 6.	<p>レジストリ活用の可能性につきましてご自由にご記入ください。</p>
Q 7.	<p>今後のメタデータ利用に関する展望 つきましてご自由にご記入ください。</p>

Q 8.	Dublin Core について伺います。
	<input type="checkbox"/> 1. 詳しく知っている <input type="checkbox"/> 2. それなりによく知っている <input type="checkbox"/> 3. 知っている <input type="checkbox"/> 4. 聞いたことはある <input type="checkbox"/> 5. 知らない
	コメント（もしございましたら、以下にご記入ください。）
Q 9.	Resource Description Framework について伺います。
	<input type="checkbox"/> 1. 詳しく知っている <input type="checkbox"/> 2. それなりによく知っている <input type="checkbox"/> 3. 知っている <input type="checkbox"/> 4. 聞いたことはある <input type="checkbox"/> 5. 知らない
	コメント（もしございましたら、以下にご記入ください。）
Q10.	その他ご感想、ご意見などありましたらご記入ください。

ご所属についてご記入ください。	
御社/貴団体名	
ご所属部署	

以 上

【電子出版制作・流通協議会 アンケート結果】

	Q1		Q2		Q3		Q4	Q5	Q6	Q7	Q8		Q9		Q10
御社/貴団体	御社/貴団体がメタデータをご利用されていますか、あるいは利用されたことがありますか。		御社/貴団体内部で公開(あるいは流通)を目的としたメタデータを作成されていますか。		メタデータスキーマ(一部でも)公開はされていますか、あるいはその可能性はありますか。		公開されない理由をお教えください。	メタデータ情報基盤構築事業(添付資料をご覧ください)につきまして感想をご自由に記入ください。	レジストリ活用の可能性につきましてご自由にご記入ください。	今後のメタデータ利用に関する展望 つきましてご自由にご記入ください。	Dublin Coreについて伺います。 <small>1. 詳しく知っている 2. それなりによく知っている 3. 知っている 4. 聞いたことはある 5. 知らない</small>		Resource Description Frameworkについて伺います。 <small>1. 詳しく知っている 2. それなりによく知っている 3. 知っている 4. 聞いたことはある 5. 知らない</small>		その他ご感想、ご意見などありましたらご記入ください。
	はい/いいえ	以下に利用データ・内容等を簡単に記入ください。	はい/いいえ	以下に内容等を簡単に記入してください。	はい/いいえ	以下にメタデータの内容とその公開方法を簡単に記入してください。					1. 3. 4.	コメント(もしございましたら、以下にご記入ください。)	1. 3. 4.	コメント(もしございましたら、以下にご記入ください。)	
A社(情報・通信関連)	はい	商品ID、製作者ID、メディア種別、販売形態、販売情報(価格、紹介文、公開日時、販売開始日時、販売終了日時、閲覧終了日時)、書誌情報(タイトル、シリーズ、ジャンル、出版社名、著者名、ページ数、ISBN、発売日時)、目次データ、ファイル形式、版数、など	はい	システムへの入稿、ストアでの公開を目的に作成。他の目的への利用は、現状、考慮していない。	いいえ		現状は実験的な作成・利用の段階であり、外部に公開できる内容となっていない。将来的に、事業としてのメリットがあると判断すれば外部にも公開する可能性はある。	メタデータ記述規則が体系化・標準化されることで、業者間で流通するメタデータの作成頻度が減少し(流用が可能となり)、費用の削減につながると共に、利用する側もレジストリ等により利便性の向上につながると思う。	コンテンツ入稿時のメタデータ生成のガイドラインやチェックツールの作成などに活用することができるのではないかとと思う。	コンテンツの内容や書誌情報的なメタデータだけでなく、権利関係の記述やクリアランスに活用可能なメタデータが標準化され、DRMなどの互換性が確保されることで、コンテンツ業界全体の発展に寄与できると思う。また、このような取り組みが、出版物だけでなく他のメディアにも拡大されると尚有益と考えている。	3	無回答	3	無回答	無回答
B社(図書館関連)	はい	オンライン書店で使用中です。	はい	書誌データを作成・販売しています。現在ではそのノウハウも活かし電子書籍のメタデータも作成し、ハイブリッド型総合書店への提供を開始しました。また他に典拠・目次・雑誌データも販売しております。	はい	販売している以上、利用者にはPDFで提供しています。		無回答	無回答	無回答	2	無回答	3	無回答	無回答
C社(出版関連)	いいえ							書籍の情報はいろいろなところに散らばっており、集めての活用が困難であったため、非常に期待できる。	誰でも簡単に活用できるのであれば、発展する可能性は非常に高いと思う	商品(書籍)の販売のため、各社のもつ書誌情報などを上手く活用しプロモーションに役立てていきたいと考えている。	4	無回答	4	無回答	無回答
D社(印刷関連)	いいえ							なし	なし	なし	4	無回答	4	無回答	無回答